

平成25年3月期

第1四半期 決算説明会資料

株式会社ユビキタス

代表取締役社長 三原 寛司

© 2012 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Ubiquitous

Agenda

- 第1四半期業績の概要

- 経営成績、財政状況

- 製品分野別動向

- 中期経営計画概要

- トピックス

- 株式会社Miewとの資本業務提携について

業績の概要

第1四半期の概況

ネットワーク関連で売上高が予想より低調に推移

- 売上高は、前期比9.3%減、進捗率13.9%
- 営業損失72百万円、純損失85百万円
- ゲーム分野の売上高が昨年同期比15.4%減、ゲーム以外は4.7%減

分野別概況

- ネットワーク関連：
 - ゲーム分野：6月大型タイトル販売あるも予想よりやや低調に推移
 - ネットワーク分野：ロイヤルティ収益が低調に推移
- データベース関連：
 - 既存顧客からのロイヤルティ収益が堅調に推移
- 高速起動関連
 - 実装作業の継続中

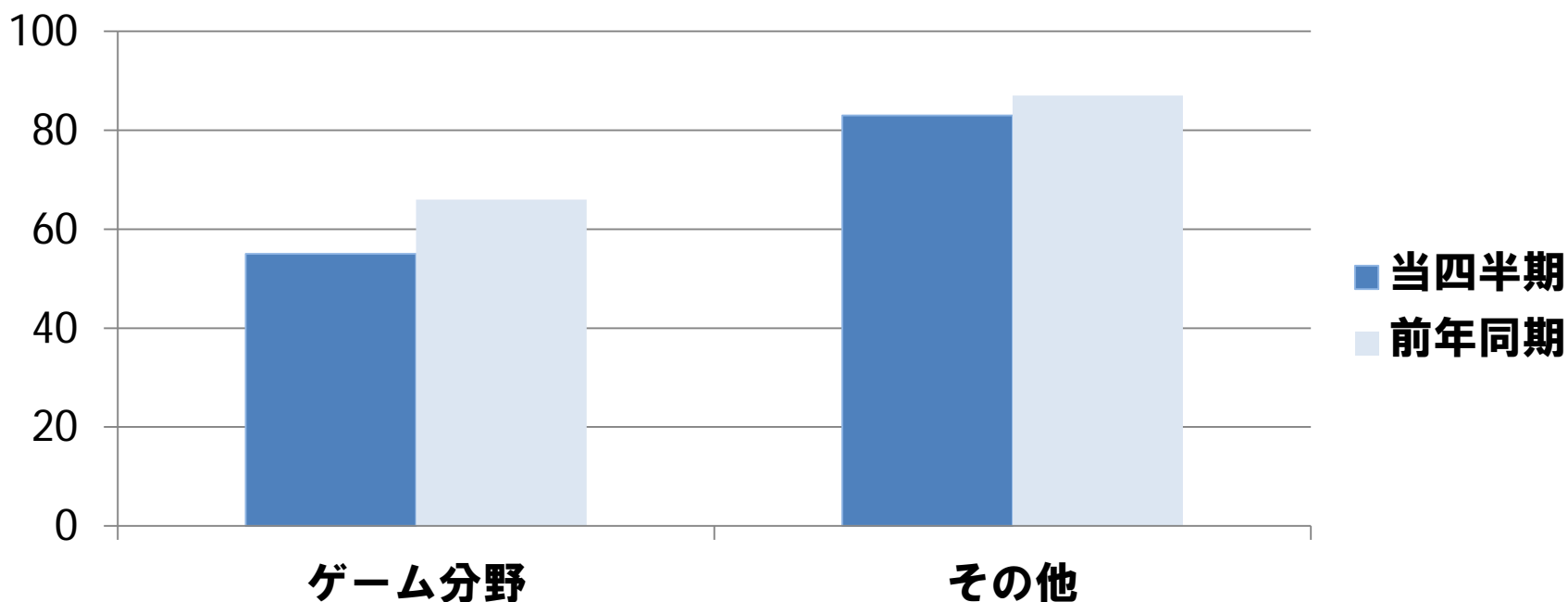
第1四半期業績の概要

	前年同期 (百万円)	H25年3月期 第1四半期実績 (百万円)	前年同期比
売上高	153	138	△ 9.3%
営業利益	△25	△72	—
経常利益	△25	△71	—
純利益	△12	△85	—
一株純利益 (円)	△149.59	△999.02	—

通期業績予想に対する進捗

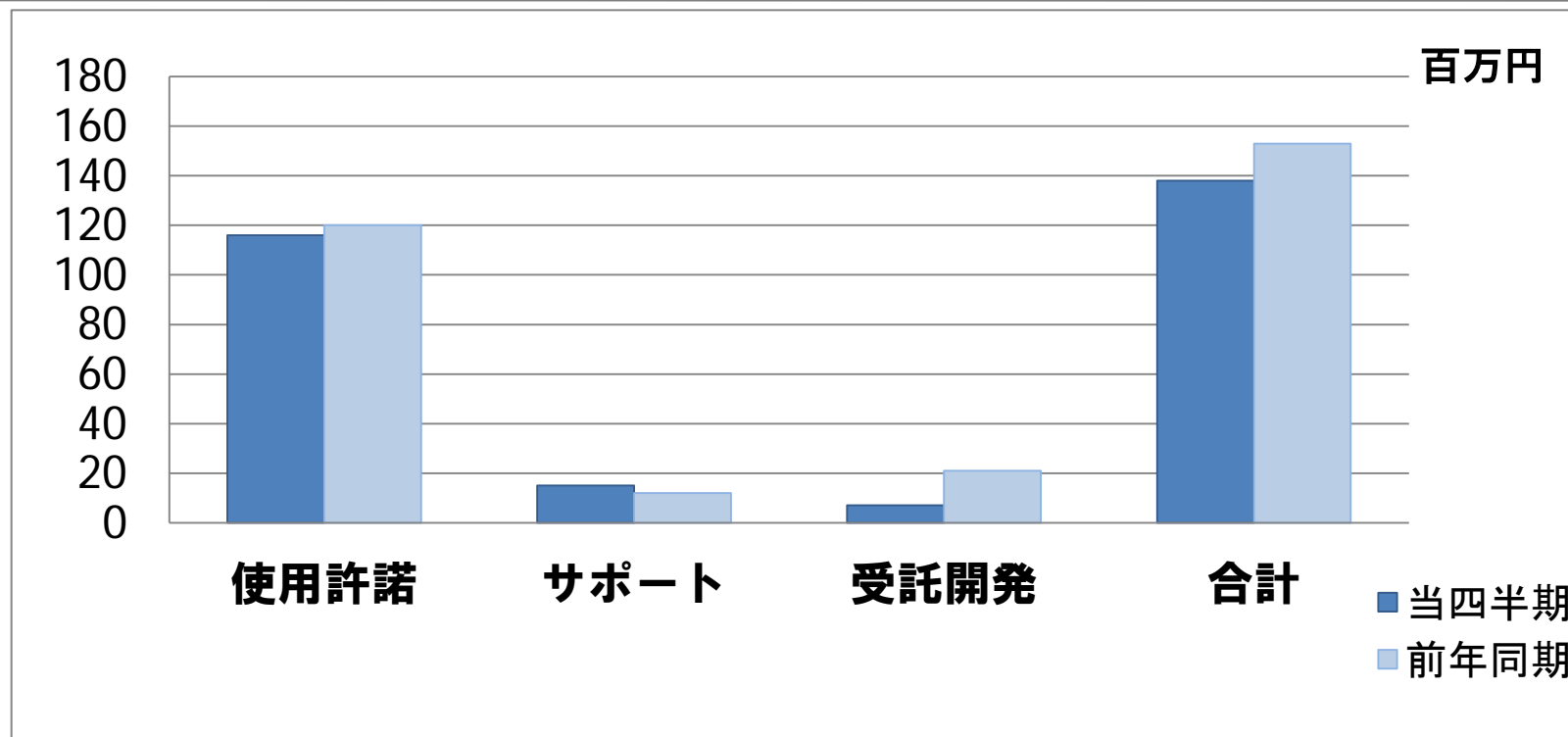
	第1四半期実績 (百万円)	当期業績予想 (百万円)	進捗率(%)
売上高	138	1,000	13.9
営業利益	△72	100	—
経常利益	△71	100	—
四半期 純利益	△85	60	—

ゲーム分野とその他 売上高対比



単位(百万円)	H25年3月期 第1四半期	構成比	増減	前年同期	構成比
ゲーム分野	55	40.3%	△15.4%	66	43.2%
その他	83	59.7%	△4.7%	87	56.8%

形態別売上高の内訳（前年同期比）



	当四半期	構成比(%)	前年同期	構成比(%)	増減額
使用許諾	116	83.9	120	74.4	△3
サポート	15	11.0	12	7.9	3
受託開発	7	5.1	21	13.8	△13
合計	138	100.0	153	100.0	△14

貸借対照表（資産の部）

（百万円未満切捨）

	平成24年6月30日 （当四半期末）	平成24年3月31日 （前期末）	増減額
流動資産	1,484	1,600	△116
現金及び預金	710	972	△261
売掛金	134	198	△63
その他	639	430	208
固定資産	703	718	△15
資産合計	2,187	2,319	△132

貸借対照表（負債・純資産の部）

（百万円未満切捨）

	平成24年6月30日 （当四半期末）	平成24年3月31日 （前期末）	増減額
負債合計	128	176	△48
流動負債	95	152	△56
固定負債	32	24	8
純資産合計	2,059	2,142	△83
資本金	566	566	—
資本準備金	536	536	—
利益剰余金	1,079	1,164	△85
負債純資産合計	2,187	2,319	△132

製品分野別動向 と取り組み

- 6月末の大型タイトル販売による寄与あり
 - 期首予想よりやや低調に推移

- 今後に向けて
 - 大型タイトルの海外販売状況を注視

- デジタル家電関連：反動減と季節要因により売上低調
 - テレビ・レコーダーが市場在庫抱え出荷台数減速しロイヤルティ低調
 - 次世代機向けの開発や受託案件継続中
 - DTCP+(新しいリンクプロテクションシナリオ)の提供開始
- 無線ネットワーク関連
 - デジカメのネットワーク対応に関するロイヤルティ収益獲得開始
- サービスプラットフォーム関連
 - 電力見える化サービス“Navi-Ene”は第2四半期に開始予定

■ 今後に向けて

- 車載・デジカメ向けネットワーク対応案件への対応
- HAN(家庭内ネットワーク)向けプロトコル対応
- 電力見える化関連のB2B向けシステム提供による収益化



 NAVI-ENE

■ 既存顧客からのロイヤルティ収益が堅調

– デジカメ, カーオーディオ向けなど

■ 採用機種拡大

– オリンパスイメージング殿コンパクトデジタルカメラ
Toughシリーズなど4機種

- 写真の検索機能に貢献



TG-320



VH-510

■ 今後に向けて

– 産業・業務用分野の新規顧客開拓

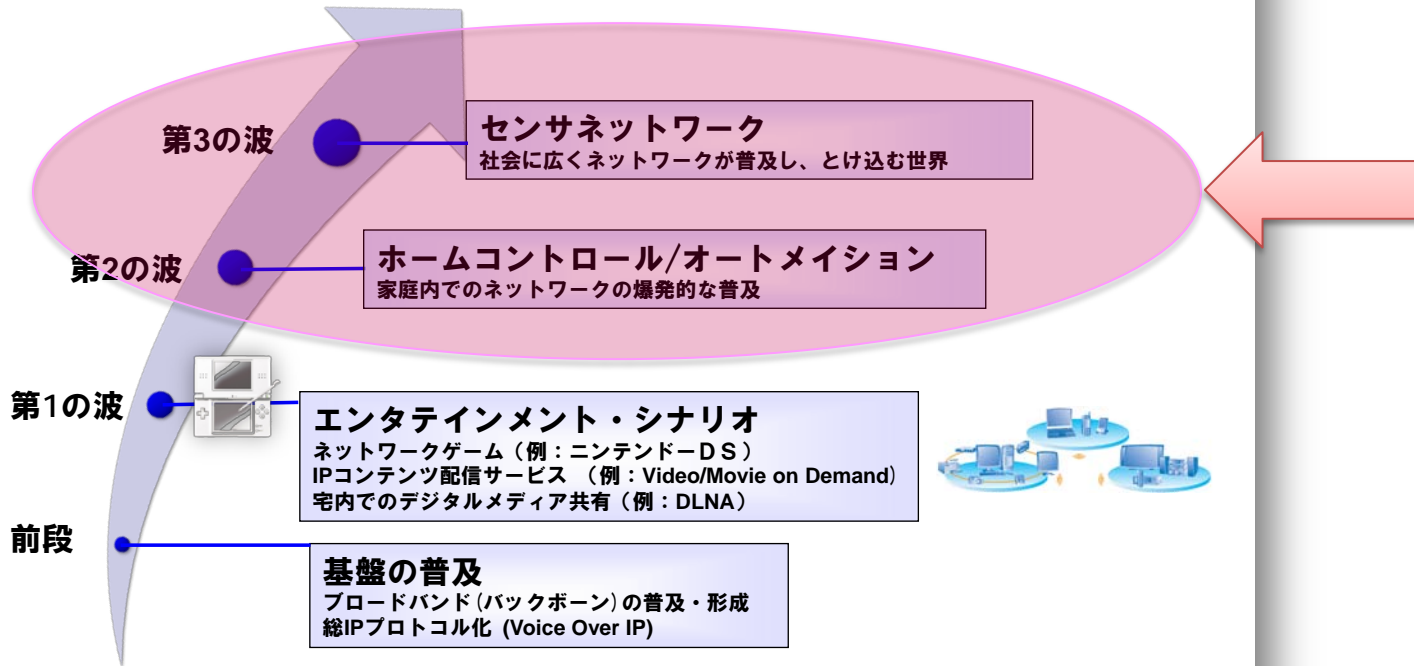
- カーナビなど車載機器関連中心
 - 複数の案件にてプロジェクト進行中、実装作業継続
 - 今期末～来期以降、量産ロイヤルティ獲得へ
- 新たに業務用機器にて量産出荷あり
 - 1Qにロイヤルティ収益計上
- 今後に向けて
 - 進行中の案件を確実に量産へつなげる
 - 対応CPUプラットフォームの拡大
 - 採用拡大に向けた開発パートナーシップの強化

中期経営計画

次の波に向けて

2006年 上場前当社資料より (※ロゴは当時のもの)

ネットワーク市場・展開



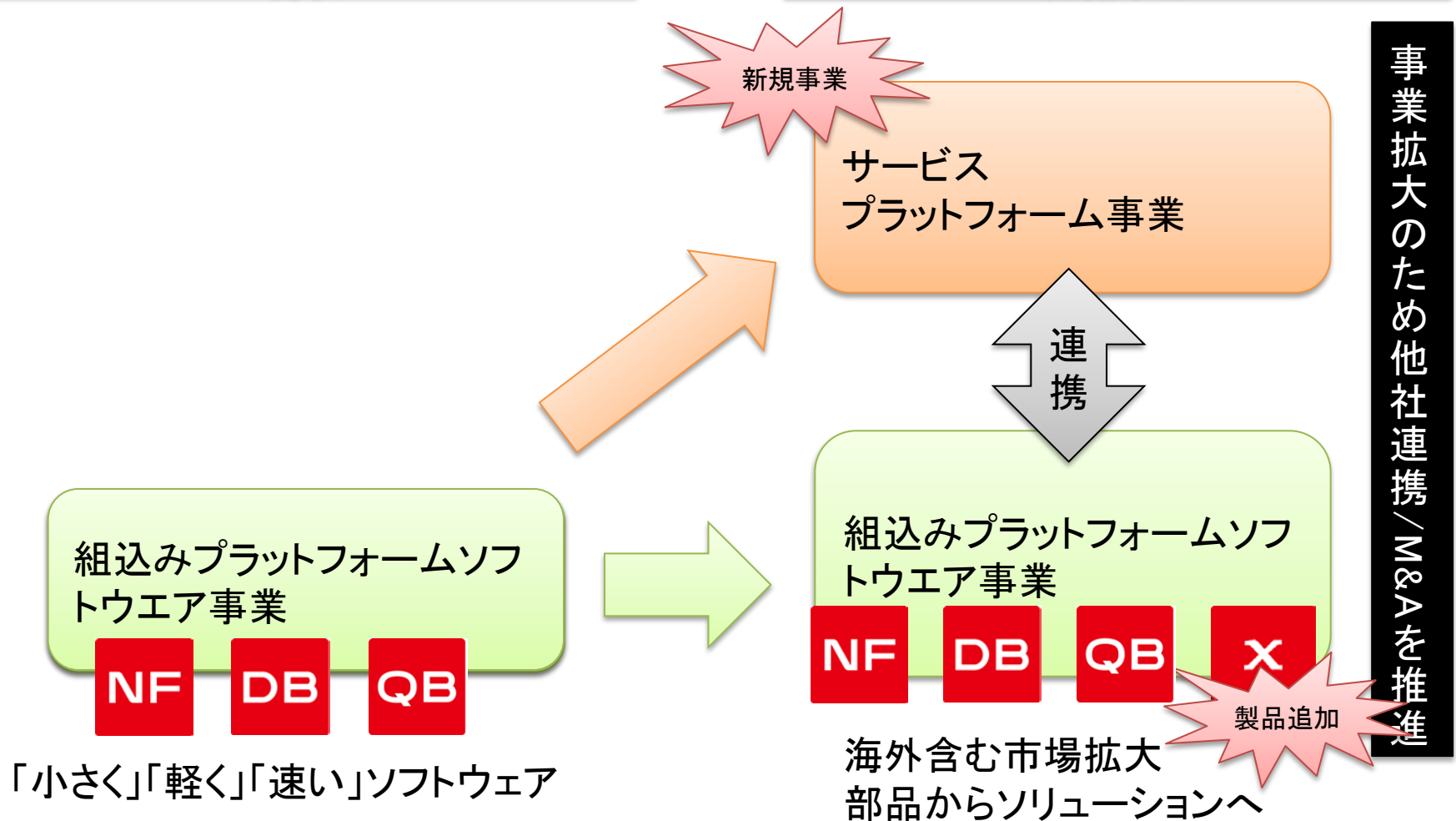
新たな波がまさに訪れる、
このタイミング



事業拡大方針

現状

目指す形



ネットワーク



Ubiquitous
Network Framework

重点項目

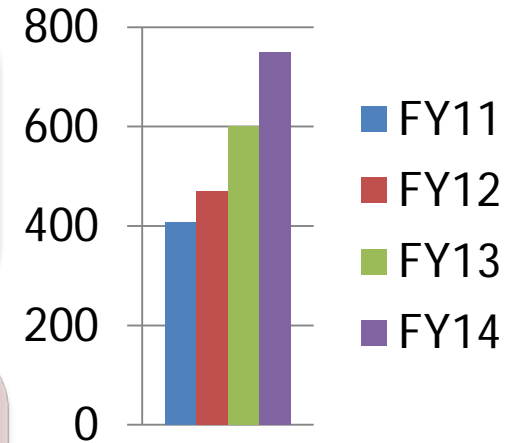
- ・ クラウド連携、無線LANによる売上拡大

ターゲット市場

- ・ デジタル家電・デジタルカメラ
車載機器のネットワーク化
- ・ スマートエネルギー関連
- ・ Home Area Network (HAN)

アクション

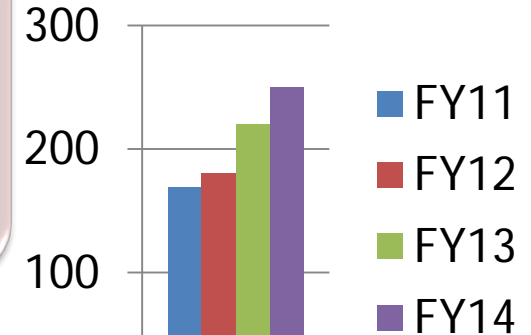
- ・ HAN向けプロトコル強化
- ・ クラウド連携
- ・ “セキュリティ”分野強化



データベース

重点項目

- ・ 着実な成長
- ・ ターゲット市場の拡大

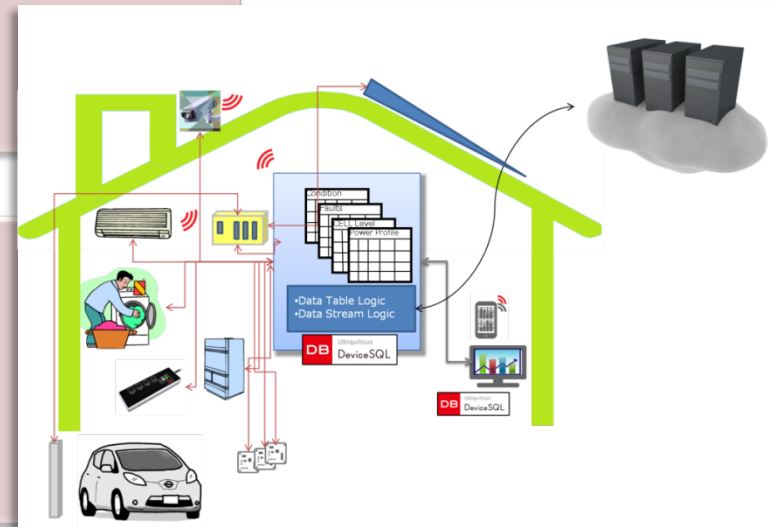


ターゲット市場

- ・ デジタルカメラ
- ・ 産業機器
- ・ スマートエナジー分野

アクション

- ・ クラウド連携
- ・ パートナー強化
- ・ ソリューション提案



高速起動



Ubiquitous
QuickBoot

重点項目

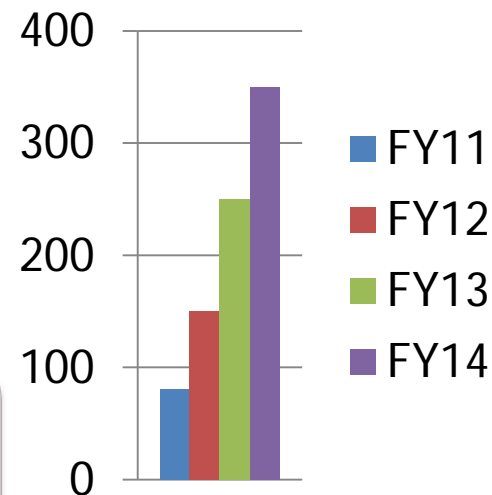
- ・ 車載分野へのフォーカス
- ・ ロイヤルティ収益化加速

ターゲット市場

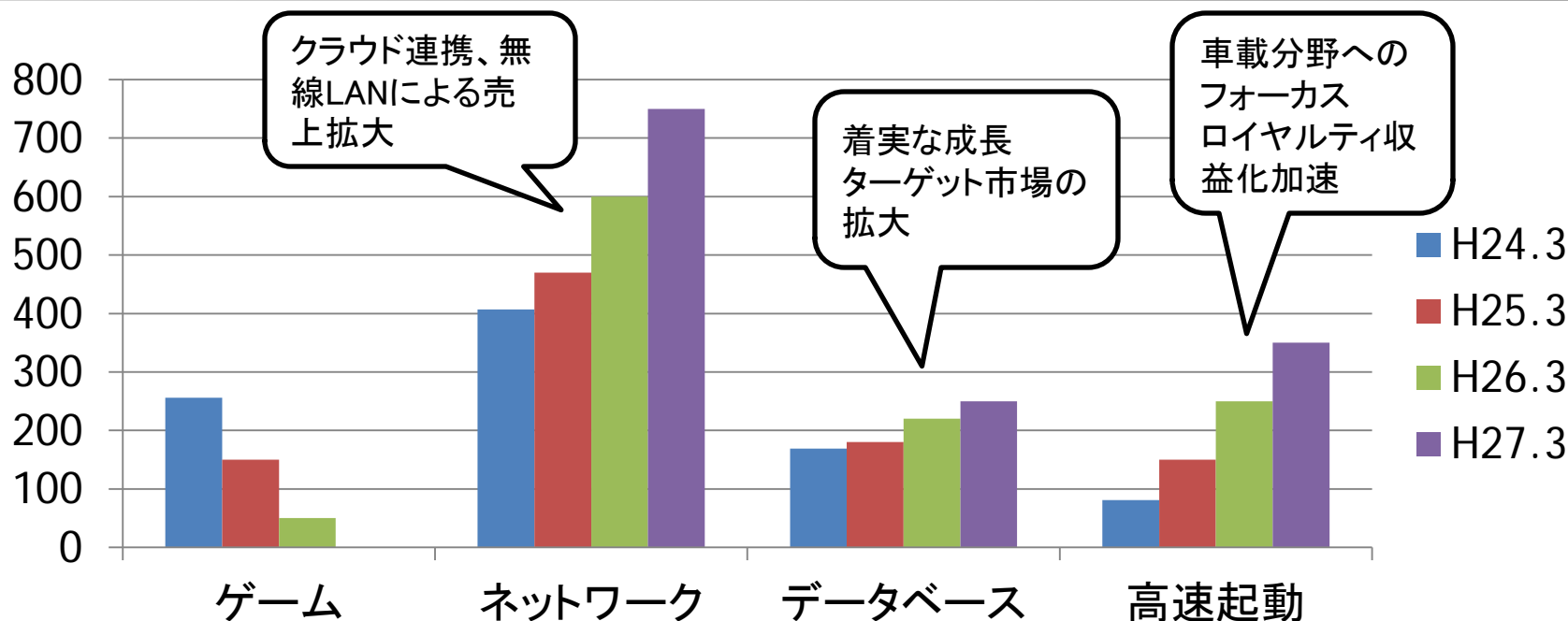
- ・ 車載機器(カーナビ関連など)

アクション

- ・ 車載向け要求対応
- ・ 開発パートナー強化
- ・ 対応CPUの拡大



組込ソフトウェア 売上高中期計画



単位(百万円)	H24.3 (実績)	H25.3 (計画)	H26.3 (目標)	H27.3 (目標)
ゲーム	256	150	50	—
ネットワーク (ゲーム以外)	407	470	600	750
データベース	169	180	220	250
高速起動	81	150	250	350

事業拡大方針

現状

目指す形

新規事業

サービス
プラットフォーム事業

連携

事業拡大のため他社連携/M&Aを推進

組込みプラットフォームソフト
ウェア事業

NF

DB

QB

組込みプラットフォームソフト
ウェア事業

NF

DB

QB

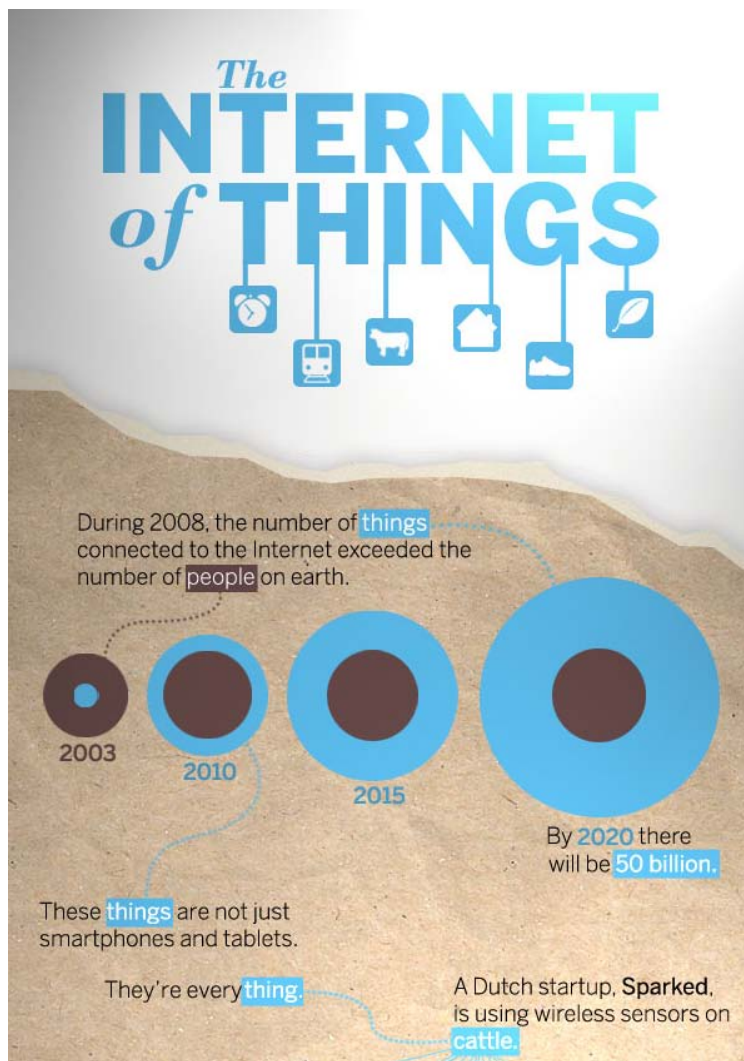
X

製品追加

「小さく」「軽く」「速い」ソフトウェア

海外含む市場拡大
部品からソリューションへ

IoT: 目指す市場の規模



2008年には地球の人口よりもインターネットに繋がる「モノ」が多くなった。

2020年までには、500億個の「モノ」がインターネットに繋がると想定

■ 着実にIoTの素地が固まりつつある

- スマートフォンに触発された周辺デバイスのネットワーク対応
- 真の“ユビキタス”に向けて環境が整いつつある

この好機を逃さない!!

サービスプラットフォーム事業

「デバイス・クラウド」の提供によりスマート社会へ貢献する



何を実現するのか？

- ・ 身の周りの様々なデバイスの情報を「リアルタイム」に収集、分析、表示
- ・ 様々なサービスを柔軟に構築可能なプラットフォーム
- ・ 組み込みソフトとの組み合わせによるソリューション

なぜデバイス・クラウド？

- ・ 携帯電話の完全普及 →
 - ・ リアルタイム情報が重要
 - ・ 通信事業者が P2PからM2Mへシフト
- ・ 集合値(ビッグデータ)が価値を生む
- ・ サーバー側連携/SNS連携

ユビキタスの目指すデバイスクラウド



スマートエナジー
サービス

ヘルスケア
サービス

ライフログ
サービス

アグリカルチャ
(農業)
サービス

.. 等 様々なサービス
弊社または他社より提供

IoT サービスプラットフォーム

様々な機器からデータを収集・分析・表示



スマートエネルギー分野への取り組み

ソフトウェア技術とクラウドサービスによる持続可能なビジネスへ

スマート社会

スマートコントロール 2014年～

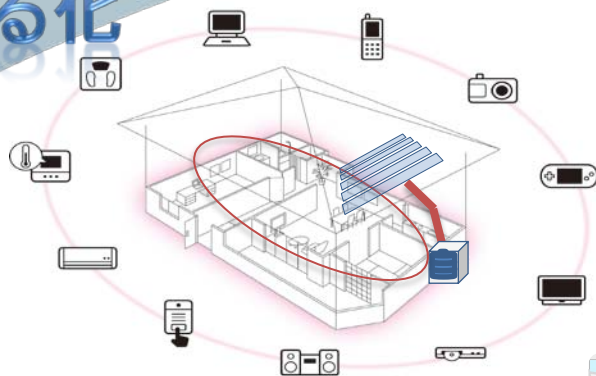
HEMSと家電のスマート制御
効率的なエネルギー消費と快適性をサポート

2013年～

エネルギー”地産地消”
自律的、持続可能な社会の実現への貢献

エネルギーの見える化

省エネ、節電意識のサポート
2012年～



NAVI-ENE

Ubiquitous

デバイスクラウドの応用を狙う3領域

対象となる市場例

ヘルスケア
サービス

予防医学市場の急拡大
例) 糖尿病(予備軍:2210万人)→ 腎炎 → 透析
透析患者の要する費用 40万円/月(39万円は保険)
1兆円: 全医療予算の1/30

予防医学に対する取り組み強化は必須!



主な応用方向

健康基礎情報の
継続収集と分析機能
への接続

ライフログ
サービス

実世界ビジネスとの連携領域に着目

さり気なく、しかも確実にユーザーのリアル行動を
知り・分析し・活用することがキーポイント
地域性と連動した、小規模だが広大な市場
携帯電話によるライフログ市場 :2015年に3600億円に



位置情報、活動履歴
など→リアルタイムで
の行動パターン
を把握、予測
→有益な情報を提供
する機能へ

アグリカルチャ
(農業)
サービス

家庭菜園←→本格的農業支援の両方向

「自産自消」時代の到来
家庭菜園の苗売上量は5年で倍増
ガーデニング市場:2100億円 / 年



土壌センサなどのデ
バイス技術とSNSな
どを組み合わせた新
しい事業モデルへ

サービスプラットフォーム売上目標

単位(百万円)	H25.3 (計画)	H26.3 (目標)	H27.3 (目標)
スマートエネルギー・ スマートハウス分野	50	150	300
その他領域 (ライフログ・ヘルスケア・アグリなど)	-	50	350
合計	50	200	650

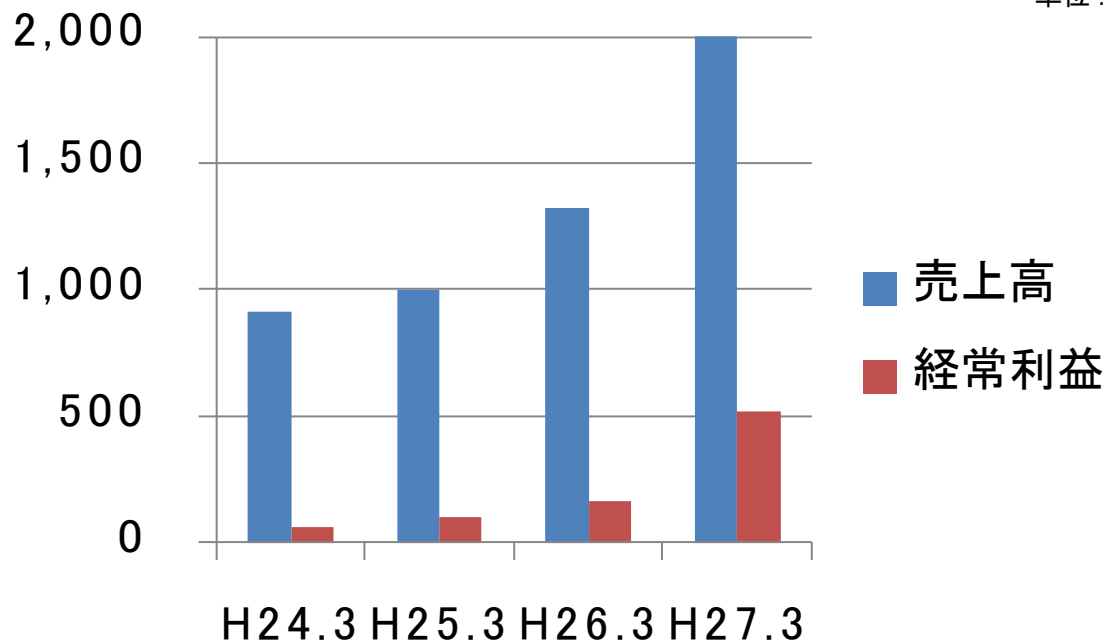
ビジネスモデル

- ① 当社独自サービスの提供 (例 Navi-Ene)
- ② 他社サービスの提供支援によるレベニューシェア
- ③ 開発受託・システムソリューション提供

中期計画

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
H24.3月期(実績)	915	63	64	△18
H25.3月期(計画)	1,000	100	100	60
H26.3月期(目標)	1,320	160	160	100
H27.3月期(目標)	2,000	520	520	310

単位：百万円



トピックス

資本業務提携について

- 株式会社Miewの第三者割当増資引き受け
 - 当社サービスプラットフォーム上のサービス開発・展開における業務提携を目的に

- 株式会社Miewについて



- 2011年3月設立
- <http://www.miew.co.jp/>
- 事業内容
 - ソーシャルメディアサービスの開発・運営



Ubiquitous

株式会社ユビキタス Ubiquitous Corporation

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 20F TEL:03-5908-3451 FAX:03-5908-3452